



この取扱説明書は、必ずご使用
される方にお渡してください。

MC オゾナイザー985

【工作機械切削液脱臭仕様】

取扱説明書

お願い

このたびは、オゾン発生装置【MC オゾナイザー985】をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。当社では、この製品を安心してご使用いただけますよう細心の注意をはらって製作しておりますが、その取扱いを誤りますと思わぬ事故を引き起こすこともありますので、この取扱説明書に従い、正しくご使用くださいますようお願いいたします。

なお、この説明書はお使いになる方がいつでも見ることができる場所に必ず保管してください。

設備工事を行う皆様へ

この説明書は、オゾン発生装置の操作・保守・点検を行うお客様に必ずお渡してください。

1 警告表示について

ここに示した注意事項は、オゾン発生装置を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。また注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取扱いをすると生じることが想定される危害や損害の内容を「警告」「注意」に区別しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

表示の説明

警告用語	意 味
 警 告	取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定される場合に使用します。
 注 意	取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うか又は物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定される場合に使用します。
注 記	とくに注意を促したり、強調したい情報について使用します。

図記号の説明

	禁止（してはいけないこと）を表示します。 具体的な禁止内容は、記号の中や近くに絵や文章で指示します。
	強制（必ずすること）を表示します。 具体的な強制内容は、記号の近くに絵や文章で指示します。

2 は じ め に

オゾン発生装置【MCオゾナイザー985】がお手元に届きましたら、すぐに下記の点について調べてください。

・ 附属品の確認

- 1) 輸送中の事故で破損個所がないか、ボルトやナットがゆるんでないかどうか、確認してください。
- 2) 附属品がすべてそろっているかどうか、確認してください。
- 3) オゾン発生装置の仕様を確認し、電源、電気容量が正常であるか確認して下さい。

付属部品・・・本体	1 台
チューブ	3m
酸气管 kit	1set

3 安全上の注意

 警告	設置する前に外形図、カタログなどから質量及び形状を確認し安全に作業をしてください。落下の危険があります。	
	吊り上げ状態での使用及び部品の取付け作業は危険ですので絶対に行わないでください。	
	電源コードを傷付けたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引張ったり、挟じったり、束ねたり、又 重い物を載せたりしないでください。火災・感電の原因となります。	
	配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って、正しく行ってください。誤った配線工事は、感電や火災の恐れがあります。	
	アース線を確実に取付け、接地工事は必ず行ってください。故障や漏電の時に感電する恐れがあります。	
	電源プラグの刃及び刃の取付面に、ほこりが付着している場合はよく拭いてください。火災の原因となります。	
	運転中はオゾン発生装置のカバーを開けないでください。高圧電源部があり感電する恐れがあります。	
	オゾン発生装置からのオゾンは直接吸い込まないで下さい。	
	修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理・改造は行わないでください。感電・発火または異常動作してけがをすることがあります。	
	点検・修理の際は必ず電源スイッチを切って下さい。感電する恐れがあります。	
	長時間ご使用にならない場合は、電源スイッチを切ってください。	
 注意	配管を行っていない状態での運転は行わないで下さい。	
	標準品をお買い上げのお客様は標準仕様の欄を参照してください。その他に、お客様のご希望により特殊仕様として仕様変更したものもあります。仕様から外れた範囲ではご使用にならないようお願いいたします。	
	オゾン発生装置は平らな場所に設置し、転倒のないように固定して下さい。	
	オゾン発生装置は液面より高い位置に設置し液が直接かからないよう設置してください。	
	装置本体には水をかけないで下さい。水がかかる場所には設置しないで下さい。	
	湿度の高い場所や、粉塵の多い場所には設置しないで下さい。	
	海岸の近くや、海水を使用する場所、塩害の可能性がある場所には設置しないで下さい。	
	高温を発生する機器の付近や、蒸気が発生している場所には設置しないで下さい。動かなくなったり異常がある場合は、事故防止のためすぐ電源スイッチを切り、ご注文先、もしくは当社に必ず点検・修理をご依頼ください。	

項目	
オゾンガス吐出量	10.0L/min (0.01Mpa)
オゾン発生量	高 85mg/h 低 30mg/h
電源電圧	AC100V 50/60Hz
消費電力	19W/18W
オゾンガス出口	SUS316 ホース継手
装置寸法	W155×H160×D260mm (突起部を含まない)
ケース材質	SUS430
装置重量	3200 g

5 据 付

1. 据付前の確認

- ・ 外観、内部の部品配管、その他の破損がないか確認して下さい。
- ・ 使用する電源電圧が適正か **4** の製品仕様を確認して下さい。

2. 据付

 警 告	設置する前に外形図、カタログなどから質量及び形状を確認し安全に作業をしてください。落下の危険があります。	
	吊り上げ状態での使用及び部品の取付け作業は危険ですので絶対に行わないでください。	
	電源コードを傷付けたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、捻じったり、束ねたり、又 重い物を載せたりしないでください。火災・感電の原因となります。	
	オゾン発生装置は平らな場所に設置し、転倒のないように固定して下さい。	
	オゾン発生装置は液面より高い位置に設置し液が直接かからないよう設置してください。	
	装置本体には水をかけないで下さい。水がかかる場所には設置しないで下さい。	
	湿度の高い場所や、粉塵の多い場所には設置しないで下さい。	
	海岸の近くや、海水を使用する場所、塩害の可能性のある場所には設置しないで下さい。	
	高温を発生する機器の付近や、蒸気が発生している場所には設置しないで下さい。	

- 1) 運搬ならびに据付時には、電源コードを絶対に引っ張らないでください。平坦な場所に設置し、固定してください。
- 2) 横置きでの使用はできません。
- 3) オゾン発生装置はできるだけ平坦な場所に設置してください。
- 4) オゾン発生装置は必ず水面より高い位置に設置してください **13** 参照

3. 電気配線

 警 告	配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って、正しく行ってください。誤った配線工事は、感電や火災の恐れがあります。	
	ア - ス線を確実に取付け、接地工事は必ず行ってください。故障や漏電の時に感電する恐れがあります。	
	電源プラグの刃及び刃の取付面に、ほこりが付着している場合はよく拭いてください。火災の原因となります。	

- ・ 電動機の電源設備や配線工事などは、電気設備技術基準及び内線規程に従い正しく施行してください。
- ・ 無資格者による不完全な配線工事、接地(ア - ス)などは法律違反だけでなく非常に危険ですから絶対に行わないでください。なお、感電事故防止のため、法律により漏電遮断器の取付けが義務付けられております。

6 保 守

1. 日常の点検

- 1) 正常に吐出しているか確認してください。
- 2) 配管の散気状態を確認して下さい。散気状態が悪い場合は酸気管がつまっている可能性がありますので清掃して下さい。

3. 定期点検

1) 1 ヶ月に 1 回

- ・ 吸気ファンのフィルターを清掃して下さい。
- ・ オゾン発生装置、及び配管の接続部よりオゾンが漏れていないか確認して下さい。

2) 1 年に 1 回

- ・ メーカー及び販売会社の定期メンテナンスを受けて下さい。

3) 3～5 年に 1 回

- ・ オゾン発生装置のオゾン発生管オ - バ - ホ - ルすることにより長期間にわたって安心してお使いいただけます。運転頻度が高い場合は早めにオ - バ - ホ - ルしてください。

7 運 転

 注意	配管を行っていない状態での運転は行わないで下さい	
---	--------------------------	---

1. 操作手順

- ・ オゾン発生装置を設置場所に固定して下さい。
- ・ オゾン発生装置の電源プラグを差しこんで下さい。
- ・ オゾン発生装置のオゾン吐出口と配管を接続して下さい。
- ・ オゾン発生装置のスイッチを ON にし、運転を開始して下さい。
- ・ トグルスイッチによりオゾン濃度を高・低 2 段階調整できます。

8 故障の原因と対策

現象	原因	対策
始動しない。 始動するが、すぐとまって しまう。	○ 停電している ○ 電源電圧のアンバランスが大きい ○ 電圧降下が大きい ○ 欠相している ○ 電源回路の接続不良 ○ 制御回路の誤配線 ○ ヒューズが切れている ○ 配管の折れや詰まりがある ○ コンプレッサーの故障	○ 電力会社へ連絡し、対策を講ずる ○ 電力会社へ連絡し、対策を講ずる ○ 電力会社へ連絡し、対策を講ずる ○ 結線部の点検 ○ 電源回路の点検 ○ 正しく配線する ○ ヒューズを交換する ○ 修理または交換する ○ 修理または交換する
吐出量不足	○ コンプレッサーの故障 ○ 電圧降下が大きい ○ 配管の折れや詰まりがある	○ 修理または交換する ○ 電力会社へ連絡し、対策を講ずる ○ 配管の点検をする
振動する。 運転音が大きい。	○ コンプレッサーの固定が外れている ○ 冷却ファンに異物が接触している	○ ネジのゆるみ固定箇所修理 ○ 異物を除去する

9 保証

当社はこのオゾン発生装置についてつぎの保証をいたします。ただし、当該保証は日本国内で 사용되는場合に限りです。

1. この製品の保証期間は納入の日から1年間といたします。
2. 保証期間中、正常なご使用にも拘わらず当社の設計・工作等の不備により故障、破損が発生した場合は、故障破損箇所を無償修理いたします。この場合、当社は修理部品代および修理のための費用を負担いたしますが、その他の費用の負担は免除させていただきます。修理の場合は弊社へ運送にてオゾン発生装置を御送りください。修理の上運送にて御返却させていただきます。
3. ただし、以下のいずれかに該当する場合は故障、破損の修理は有償とさせていただきます。
 - (1) 保証期間経過後の故障、破損
 - (2) 正常でないご使用、または保存により生じた故障、破損
 - (3) 火災、天災、地震等の災害および不可抗力による故障、破損
 - (4) 当社指定品以外の部品をご使用の場合の故障、破損
 - (5) 当社および、当社指定店以外の修理、改造による故障、破損
4. 保証についての当社の責任は上記の無償修理に限られるものとし、その他の費用の負担、損害についての責任は免除させていただきます。
5. 補修用品の保有期間は製造中止後5年間です。

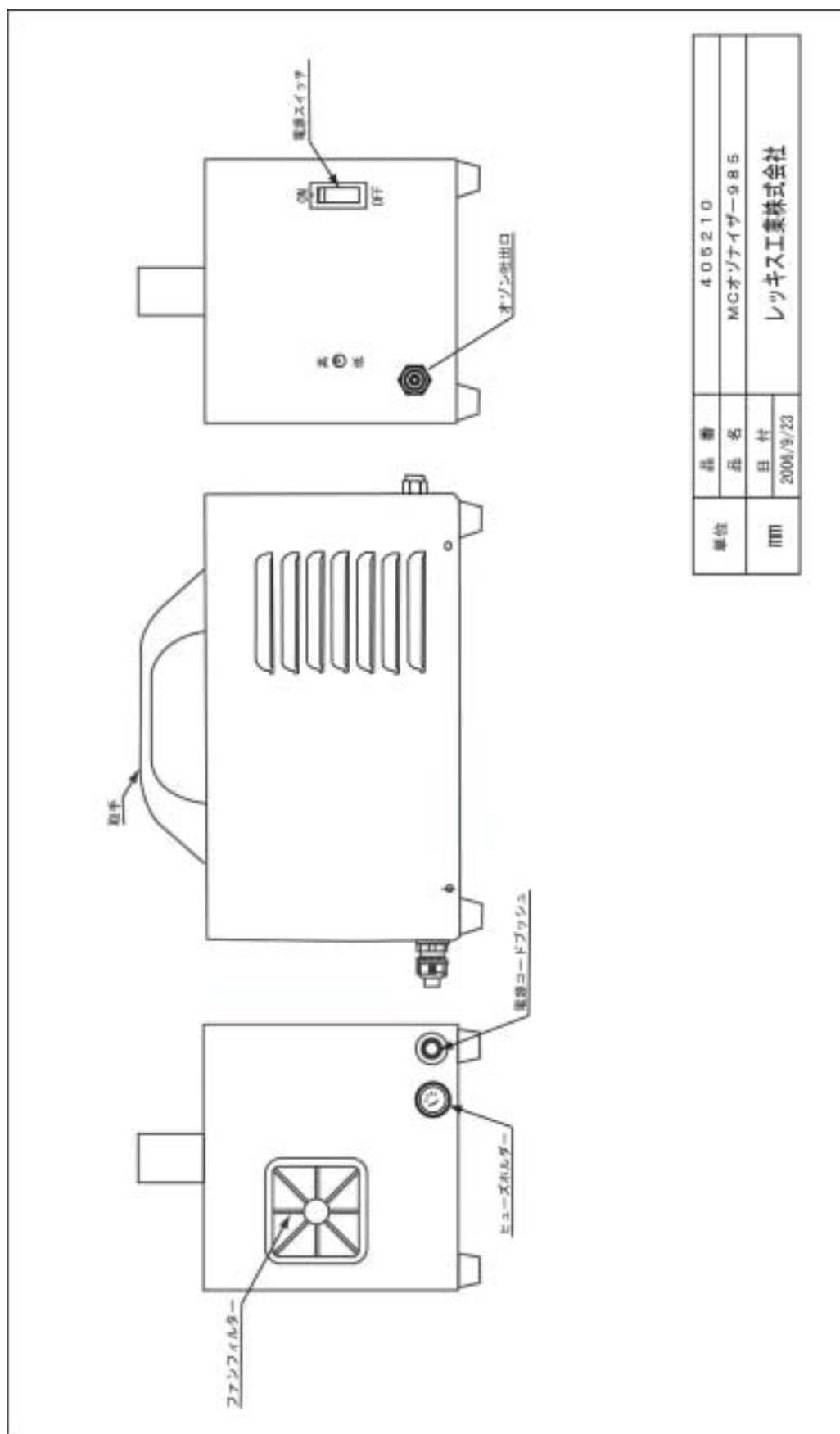
10 修理・アフターサービス

この製品のご使用中に異常を感じたときは、直ちに運転を停止して故障か否かご点検ください。(8 故障の原因と対策参照) 故障の場合は、すみやかに本取扱説明書末尾記載の当社または当社指定店の窓口にご連絡ください。ご連絡の際、銘板記載事項と故障(異常)の状況をお知らせください。

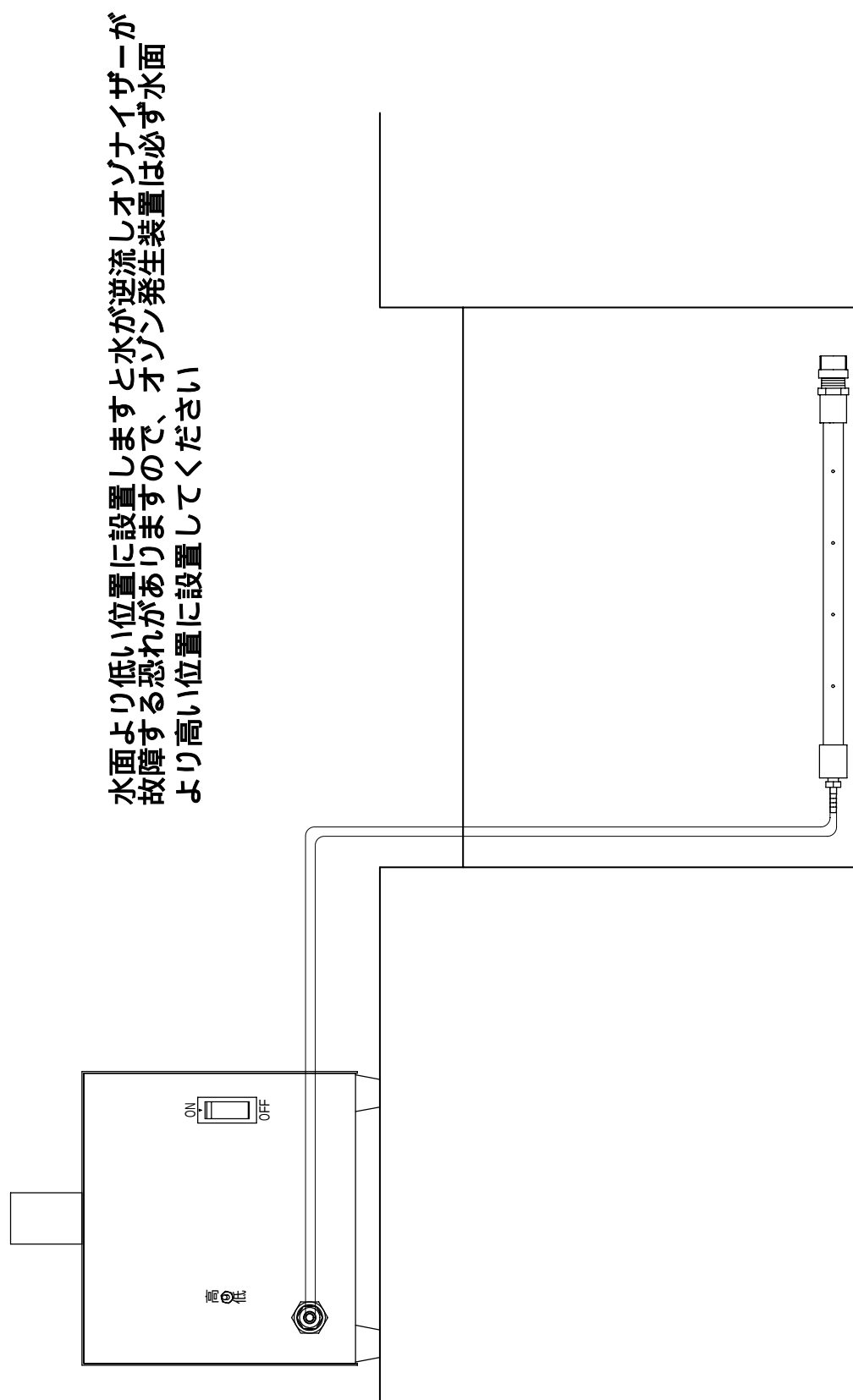
注 記	据え付け後不要となりました梱包材料及び点検、修理等で廃品となりました、部品等は専門の業者へその処理を依頼してください。
------------	---

その他にお買い上げの製品について不明な点がございましたら、ご遠慮なくお問い合わせください。

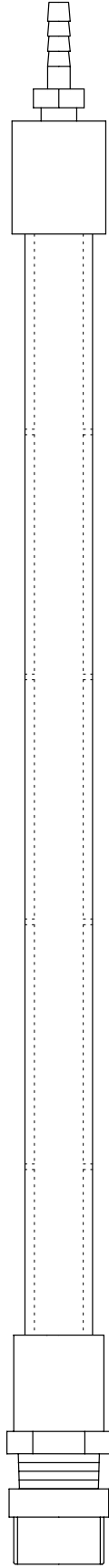
11 オゾン発生装置図



設置方法の注意点



塩ビ製 酸気管



穴 8 箇所 外形φ 6 ホースニップル付



リックス工業株式会社

新規事業開発本部	〒 578-0948	大阪府東大阪市菱屋東1丁目9番3号	TEL 0729-61-9893
札幌営業所	〒 006-0832	北海道札幌市手稲区曙2条4丁目3番31号	TEL 011-682-3711
仙台営業所	〒 984-8651	宮城県仙台市若林区卸町3丁目1番13号	TEL 022-232-1697
東京営業所	〒 170-0013	東京都豊島区東池袋3丁目13番8号	TEL 03-3980-5341
前橋営業所	〒 371-0846	群馬県前橋市元総社町932番地8号	TEL 027-253-8691
神奈川営業所	〒 243-0804	神奈川県厚木市関口150番地の1	TEL 046-245-3981
名古屋営業所	〒 454-0806	愛知県名古屋市中川区澄池町9番3号	TEL 052-351-1551
北陸営業所	〒 921-8051	石川県金沢市黒田2丁目391番2号	TEL 076-240-4530
大阪営業所	〒 578-0948	大阪府東大阪市菱屋東1丁目9番3号	TEL 0729-65-9811
高松営業所	〒 760-0072	香川県高松市花園町3丁目7番22号	TEL 087-834-3982
広島営業所	〒 734-0022	広島県広島市南区東雲2丁目15番11号	TEL 082-284-8085
九州営業所	〒 816-0082	福岡県福岡市博多区麦野3丁目18番26号	TEL 092-583-1110